

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 実用新案公報 (Y2)

(11)実用新案出願公告番号

実公平6-11796

(24) (44)公告日 平成6年(1994)3月30日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 4 1 J	2/335 2/32 2/345	8906-2C 8906-2C	B 4 1 J 3/ 20	1 1 0 1 1 3 D
請求項の数 1 (全 5 頁) 最終頁に続く				

(21)出願番号	実願昭63-14625	(71)出願人	999999999 カシオ計算機株式会社 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号
(22)出願日	昭和63年(1988)2月8日	(72)考案者	榎尾 幸雄 東京都西多摩郡羽村町栄町3丁目2番1号 カシオ計算機株式会社羽村技術センター 内
(65)公開番号	実開平1-119345	(74)代理人	弁理士 杉村 次郎
(43)公開日	平成1年(1989)8月11日		審査官 畑井 順一
		(56)参考文献	特開 昭61-270166 (JP, A) 特開 昭61-270167 (JP, A) 実開 平1-80352 (JP, U)

(54)【考案の名称】 転写ヘッド

1

【実用新案登録請求の範囲】  
 【請求項1】感熱転写インク層を有する面とは反対側の面に帯路電極用の導電層を有する感熱転写シートを使用して転写記録するための転写ヘッドであって、支持板と、略中心で折り曲げられて前記支持板の外表面に接着された耐熱性絶縁薄膜体と、前記耐熱性絶縁薄膜体の互いに平行する両外表面にそれぞれ複数ずつ形成され、かつ前記耐熱性絶縁薄膜体の折曲外表面において交互に並列形成された導電パターンと、前記耐熱性絶縁薄膜体の折曲外表面における前記導電パターン上に形成された導電性カーボン結核からなる発熱抵

2

層に接触させて使用することを特徴とする転写ヘッド。

【考案の詳細な説明】

【考案の技術分野】

この考案は、感熱転写シートを使用して普通紙などの被記録体に転写記録する転写ヘッドに関する。

【背景技術】

最近、本件出願人は、ワードプロセッサ方式で、感熱転写印刷用の印刷原版を効果的に製版し得る印刷原版の製版方法を提案している（例えば、昭和62年3月25日付特許出願「印刷原版の製版方法及びその製版装置」）。この製版方法は、印刷シートを形成する光反射薄膜層上をサーマルヘッドで走査しながら、入力された文字の図形などの原画後部情報に基づき電気記録信号に